# あんぜんだより

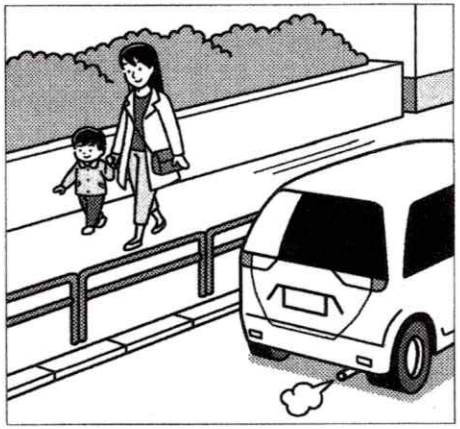
令和３年度
育暎保育園　４月号

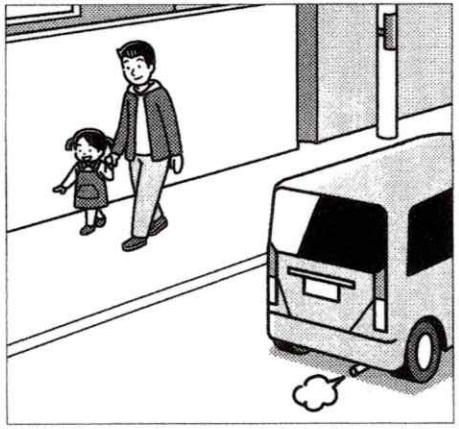
監修　全国学校安全教育研究会／東京都江東区立大島幼稚園 園長　村田有美子先生

## 安全な毎日を送るために 道路の歩き方を覚えましょう

ご入園・ご進級おめでとうございます。新しく始まる１年間を子どもたちが元気で安全に過ごしていくために、道路の安全な歩き方をしっかり身につけさせましょう。保護者の皆さんも、子どもたちの良いお手本となれるように、もういちど確認しておきましょう。

## どうろを　あるく　ときには

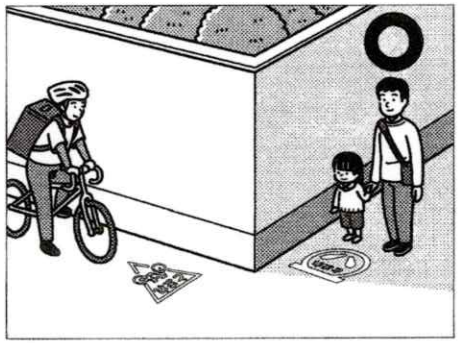


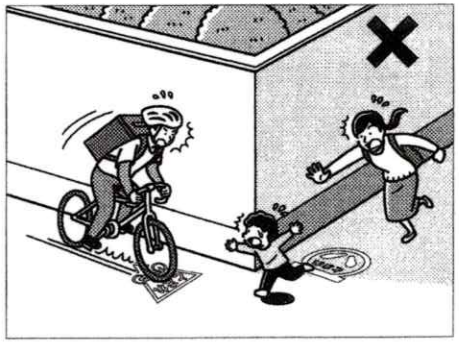


**おうちの　おとなの　ひとと　てを　つなごう。**
**ガードレール（がーどれーる）や　しろい　せんの　うちがわを**
**あるき　じどうしゃが　とおる　ところから**
**はなれて　たてものがわを　とおろう。**

保護者の方へ　歩道と車道がガードレールなどで区切られている道では歩道を歩きます。路面に白線が引かれている道では白線の内側を歩きます。どちらの道でも、自動車が通行する部分からはできるだけ離れ、子どもは建物側を歩かせるようにしましょう。また、歩行者は道の右側を歩くことが原則です。交通事故や転倒、迷子などの危険を防ぐためには、子どもだけで歩かせず、必ず保護者と手をつないで歩くことが大切です。

## かどの　てまえでは　とまろう

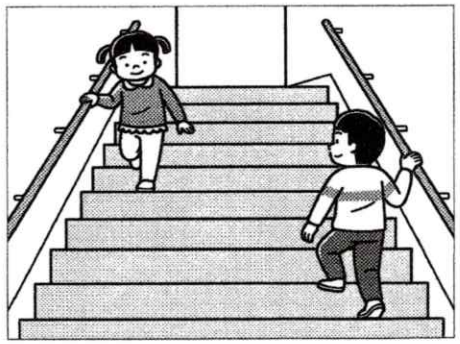



**じどうしゃや　じてんしゃが　こないか**
**よく　たしかめてから　とおろう。**

保護者の方へ　交差点や曲がり角は見通しが悪く、出合い頭の衝突事故に遭う危険があります。自動車はもちろんですが、自転車は音も静かで気づきにくく、スピードも出るので、特に注意が必要です。交差点や曲がり角では、必ず手前で立ち止まり、安全を確認してから通行するようにしてください。

## ろうかや　かいだんでは　はしらない



**ころんだり　ぶつかったり　して**
**あぶないから　ゆっくり　あるこう。**

保護者の方へ　「廊下は右側を走らずに、ゆっくりと歩く」、「階段では駆け上がったり駆け下りたりせずに、手すりをつかんで静かに上り下りする」屋外を歩く時のルールを身につけるためにも、園や自宅など、屋内を歩く時から気をつけましょう。

５月号では、**「横断歩道・踏切の渡り方」**について取り上げます。